

添付資料3：埋蔵文化財試掘調査関連資料

前 教 文 第 6 4 2 号

令和 6 年 1 月 4 日

前橋市長 山 本 龍
(建築住宅課) 様

前橋市教育委員会
教育長 吉 川 真由美
(公印省略)

埋蔵文化財確認調査の結果について(回答)

令和 5 年 5 月 7 日付けで依頼のありました標記の件につきまして、下記のとおり回答いたします。

(文化財保護課埋蔵文化財係)

記

1 調査地(開発予定地)の地番及び面積

(1)地 番

前橋市広瀬町一丁目 16 番 1、2、3

(2)全体面積 15,771.53 m²

2 試掘調査の面積

261.76 m²

3 調査実施日

令和 5 年 7 月 27 日～7 月 28 日

令和 5 年 8 月 28 日～8 月 30 日

4 調査担当者

前橋市教育委員会事務局 文化財保護課 埋蔵文化財係 並木・阿久澤

5 調査の方法

開発予定地にトレンチを 8 本設定し、土木重機による掘削と人手による精査を行い、埋蔵文化財の確認・各種記録作成作業を行いました。

6 調査の結果

(1) 検出した遺構

古墳周堀、時期不明の竪穴住居 1 軒、土坑 3 基、ピット 3 基

(2) 検出した遺物

土師器片

7 意 見

(1) 調査所見

本開発予定地は前橋市 0 3 3 0 遺跡内であり、遺跡の有無と埋蔵文化財の保存状況等を確認する必要があるため、確認調査を実施しました。

遺構確認は、1 トレンチ：表土下約 70cm のローム質地山、2 トレンチ：表土下 73cm のローム質地山、3 トレンチ：表土下約 63 c m のローム質地山、4 トレンチ：表土下約 64cm のローム質地山、5 トレンチ：表土下 cm のローム質地山、6 トレンチ：表土下約 106 c m のローム質地山、7 トレンチ：表土下約 71cm のローム質地山、8 トレンチ：表土下約 76 c m のローム質地山で行いました。

(2) 判定結果

調査の結果、古墳周堀と思われる溝 1 8 条、時期不明の竪穴住居 1 軒、土坑 3 基、ピット 3 基を検出しました。

工事予定地は、旧利根川の低地から上がった南側の台地上に位置し、周辺はかつて 1 5 0 基以上の古墳があったとされる朝倉・広瀬古墳群に位置します。現在、墳丘が残るものはわずかですが、地中に埋もれた周堀等が検出されることがあります。古墳周堀はローム質地山を掘り込む形で検出され、数多くの古墳周堀と思われる溝が確認されたことから、複数の古墳があったものと考えられます。

検出された遺構については、埋蔵文化財の保護措置を講ずる必要があります。工事計画により現状保存が不可能な場合は、工事着手前に記録保存を目的とした発掘調査が必要になりますので、文化財保護課と協議をお願いいたします。

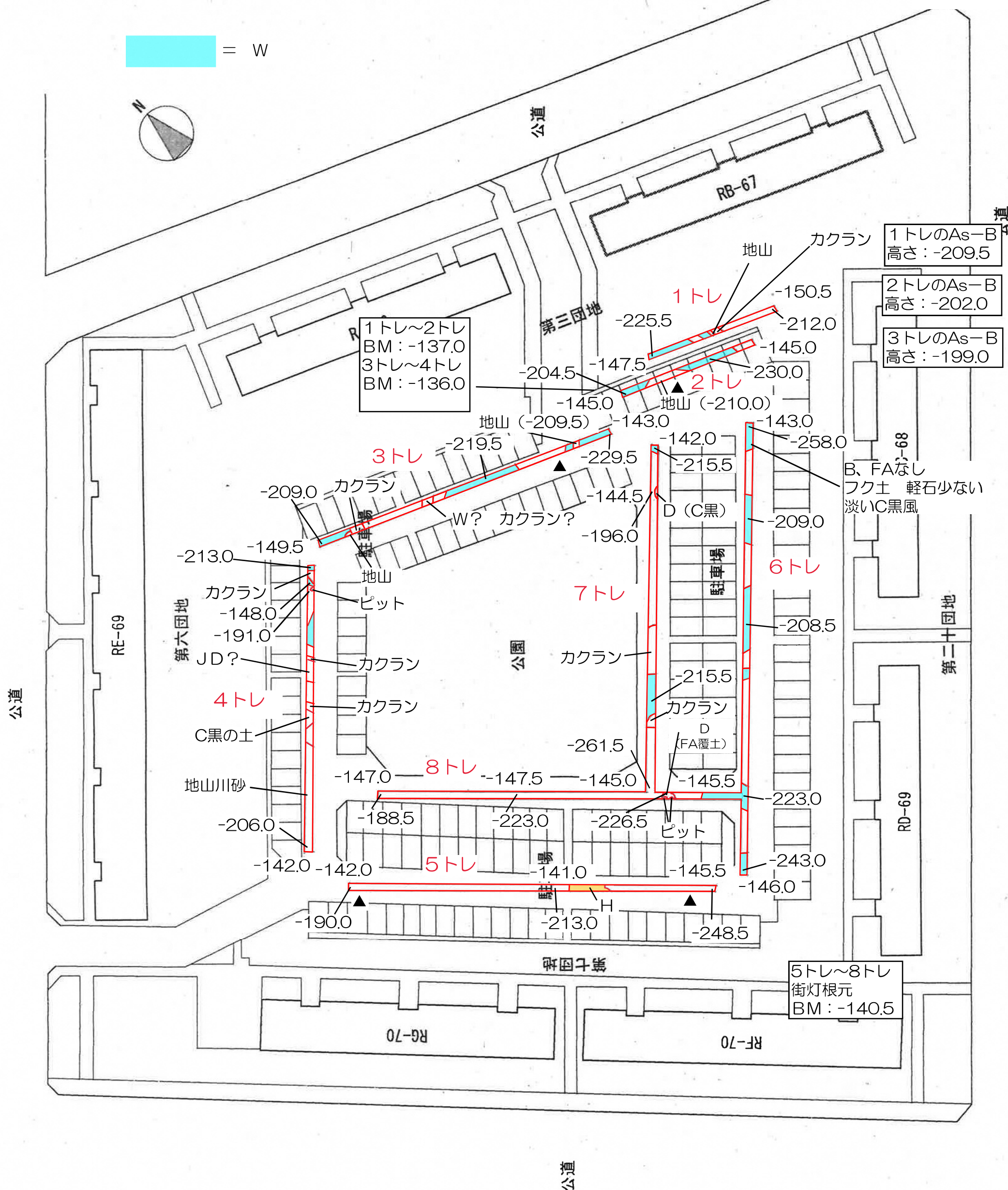
【文化財保護課：0 2 7－2 8 0－6 5 1 1】

8 添付書類

(1) 平面図

(2) 写真

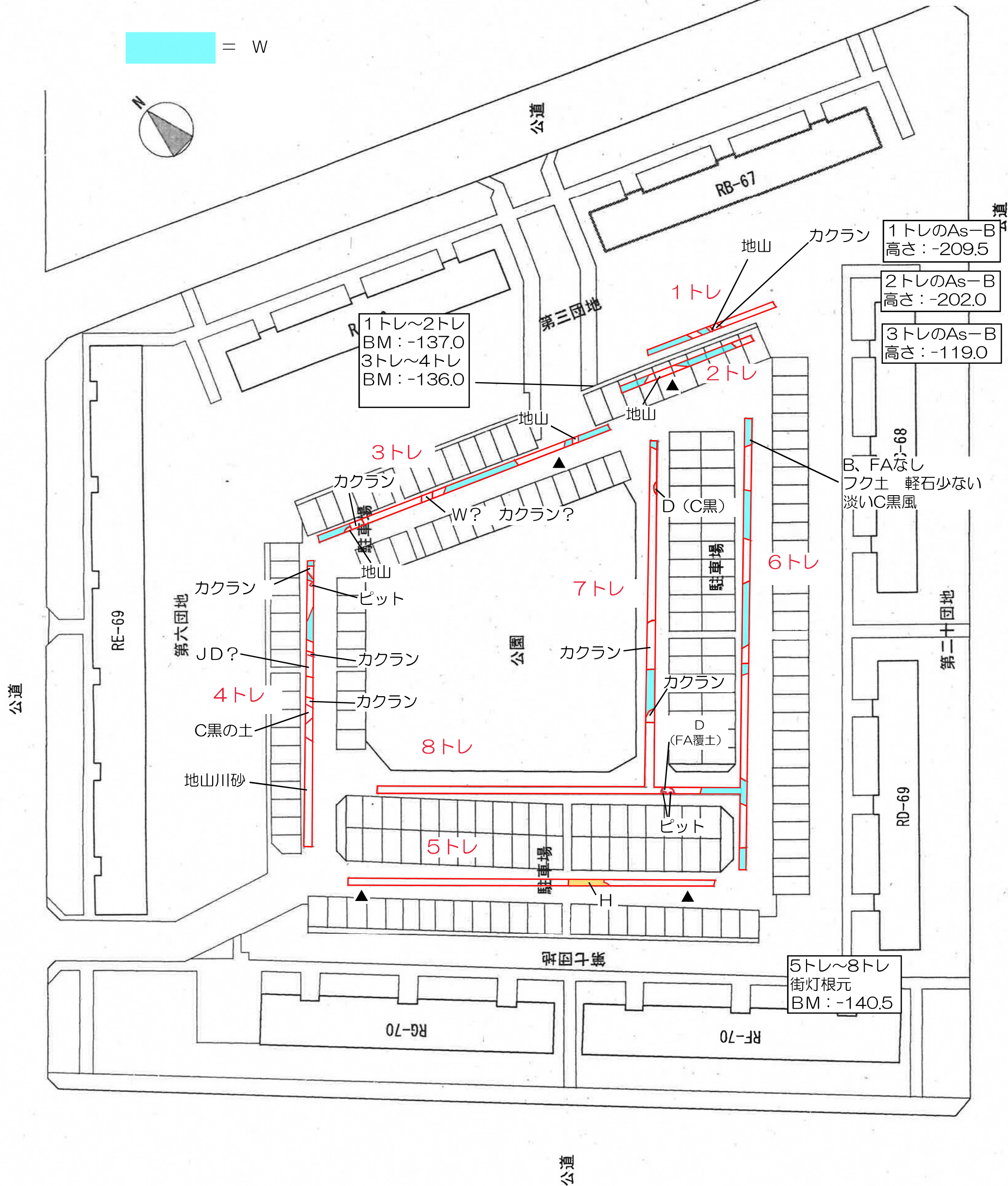
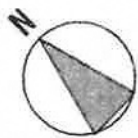
1/500



広瀬町一丁目（市営住宅）試掘結果図

1/500

■ = W



広瀬町一丁目市営団地試掘調査写真 (1～4 トレンチ 7/27・28 実施)
(5～8 トレンチ 8/28～8/30 実施)



1 トレンチ (東から)



1 トレンチ (西から)



1 トレンチ As-B 堆積部分



1 トレンチ遺構 (東から)



2 トレンチ (東から)



2 トレンチ (西から)



3 トレンチ (東から)



3 トレンチ (西から)



4 トレンチ (北から)



4 トレンチ (南から)
(手前の地山は砂質)



5 トレンチ (西から)



5 トレンチ (東から)



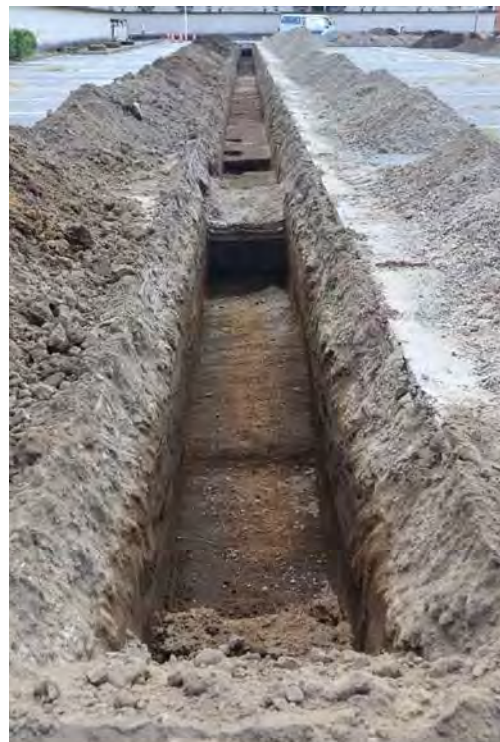
5 トレンチ 竪穴建物跡



5 トレンチ 竈跡



6 トレンチ (南から)



6 トレンチ (北から)



7 トレンチ (北から)



7 トレンチ (南から)



8 トレンチ (西から)



8 トレンチ 土坑とビット



5 トレンチ西側（南壁）



5 トレンチ東側（南壁）



5 トレンチ地割れ



2 トレンチ西側（南壁）